

令和7(2025)年度 学校法人国際学園 事業報告書

I 令和7(2025)年度の総括

(1)経営指針等について

ア 学校法人国際学園創設者の思想の深耕について

創設者である宮澤保夫が2022年に他界し、創設者の思想を教育活動全般において実践することを教職員は目標としている。例年通り、各種会議、各種研修、OJT並びにSEISAスポーツ新聞、SEISAグループニュースによりその深耕を図った。

イ 経営テーマについて

本年度は、「星槎はみんなで作る集合体」を経営テーマとした第Ⅵ期中期経営構想(2024年度～2027年度)の2年目であり、2024年度に着手した規程等の見直しによる組織の基盤づくりをさらに推進する1年となった。改正された私学法、寄附行為、および内部統制システム整備の基本方針に則り、働きやすい環境作りが、就業規則改正などを通して行われた。

ウ 経営目標について

2024年度～2027年度を、50年企業(2035年)に向けた経営基盤の整備期間と位置づけ、さらなる拡充のための準備として管理事務システムのDX化を進めており、教職員が業務関連情報にアクセスしやすい職員ポータルサイトの2026年度開設を目指し、勤怠管理システム等の導入準備を進めることができた。

(2)主要実施事項について

①経営テーマを念頭に置いた組織力強化について

- ・寄附行為、内部統制システム整備の基本方針の改正が行われ、内部監査室の設置(2025.4)、公益通報窓口の外部委託(2025.6)、就業規則の大規模な改正(施行2026.4)などが行われた。
- ・管理事務システムのDX推進のため、勤怠管理システムの試行、経理計算システムの試行などを行った(いずれも2026年度実装予定)。

②星槎大学の活動について

- ・認定保育士資格(一般社団法人日本保育連盟との連携事業)がスタートし、日本保育連盟より推薦を受けた施設長が大学院で1年間学ぶプログラムが実施された。
- ・東京都保育士等キャリアアップ研修講座の委託を受け実施。2026年度も継続予定。
- ・履修証明プログラム「学びの多様化支援士」を開講。求められる多様性の包摂に必要とされる能力を網羅するオンライン研修プログラムを実施した。
- ・2025年10月18日・19日 国立青少年オリンピックセンターにて開催した「日本LD学会34回大会」の大会幹事校を務めた。発達障害等に関する研究・臨床・教育の進歩向上を図る学会の年次大会を星槎グループ教職員の協力の元、4000名を超える来場者を迎え盛會に終えることができた。

・広報面では、星槎ならではの学び(多様性包摂)・共生の理念に魅力を感じる授業作りと、多彩な学生の活躍を発信することで、年齢や興味関心が異なる様々な層へのアプローチを試みた。在学生のプロレスラーやデフリンピック出場選手の活躍、ビジネスコンテスト最優秀賞受賞などのニュースで、教育以外の側面から星槎大学をアピールできた。

③星槎国際高等学校の活動について

- ・教頭、主幹教諭の地域別担当制を導入し、教職員との面談機会を多く設けたことで、教職員が教育内容、働き方などに意見を出しやすい環境となった。
- ・学びの多様化学校リベラルアーツコース認定により、必要な生徒に、個性に応じたキャリア形成プログラムの実践がはじまった。
- ・学びの多様化学校の認定をきっかけに、星槎もみじ中学校と星槎国際高等学校本部校の連携を強め、他の通信制高校ではできない中高一貫教育の実現を目指し、協議を行っている。
- ・地域からの委託事業(帯広・立川・浜松・富山)、復興支援事業(南相馬市・大熊町)など地域と密接に関わる活動の充実を図った。
- ・教職員を公立学校へ派遣して、校内教育支援センターの運営支援を行い、指導助言を行った。

④星槎もみじ中学校の活動について

- ・教育活動においては、「入学してから生徒が全道一大きく成長する学校づくり」を掲げ、教科横断型選択授業、体験型授業、個別指導計画に関するステラプランの運用、キャリア教育などのさらなる充実を図った。
- ・星槎国際高等学校の学びの多様化学校(コース設定)の認可を受け、星槎国際高等学校本部校に進学した際に6年間の一貫性のある教育活動が行えるカリキュラム作成を進めている。
- ・学びの多様化プロジェクトの一環として、学びの多様化学校連絡協議会(まなたよ)設立総会に参加し、活動の報告を行った。行政機関からの視察を積極的に受け入れ(埼玉県議会議員、千葉県夜間中学校、神奈川県議会議員 他)、本校の活動に関する意見交換を行っている。
- ・人材育成の一環として、教員の近隣小学校への講師派遣(年3回程度)を行い、初等教育への理解を深めた。

⑤その他の事業について

- ・2025年度も、東日本大震災後から継続している福島県南相馬市内の小中学校の児童生徒に対するカウンセリングを公益財団法人世界こども財団などと連携して実施した。

2 法人の概要

<建学の精神>

社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる

<学校法人の沿革>

- 昭和55年 学校法人長谷川学園(理事長 長谷川やす江就任)として静岡県知事より法人設置認可。同時にキンダー幼稚園(初代園長 野口真寿就任)開園
- 昭和60年 学校法人国際学園に法人名を変更。二代理事長に宮澤保夫就任
- 昭和61年 学校名をピーターパン幼稚園に変更。二代園長に宮澤幸子就任
- 昭和62年 神奈川県知事より横浜国際福祉専門学校の設置認可。社会福祉学科Ⅰ部、Ⅱ部並びに老人福祉学科Ⅰ部開設。(初代校長に鎌田洋二就任)
- 昭和63年 横浜国際福祉専門学校在職者(任用資格)養成機関及び介護福祉士養成施設として指定。二代校長に重田信一就任
- 平成元年 三代理事長に江頭瑞穂就任
- 平成5年 横浜国際福祉専門学校三代校長に河田正勝就任
- 平成6年 横浜国際福祉専門学校に老人福祉学科Ⅱ部開設
- 平成7年 四代理事長に佐々木卓就任
横浜国際福祉専門学校に児童福祉学科Ⅰ部、Ⅱ部開設
- 平成8年 横浜国際福祉専門学校が児童厚生2級指導員養成校として認定
- 平成11年 北海道知事より星槎国際高等学校設置認可。初代校長に跡部敏之就任
札幌市、横浜市、福井市、大阪市に学習センター(分校)を開設
- 平成12年 星槎国際高等学校学習センターを郡山市に開設
- 平成13年 星槎国際高等学校学習センターを福岡市に開設
- 平成14年 五代理事長に伊藤圓亢就任
星槎国際高等学校学習センターを富山市に開設
横浜国際福祉専門学校に総合福祉学科(昼間1年制)開設。
「老人福祉学科」を「介護福祉学科」に名称変更
- 平成15年 静岡県知事より学校法人青葉台幼稚園と合併認可。二代園長に近藤ちえ子就任
横浜国際福祉専門学校四代校長に鈴木知佐子就任
星槎国際高等学校学習センターを浜松市に開設
星槎国際高等学校専攻科開設。文部科学大臣より星槎大学設置認可
- 平成16年 星槎大学開学 初代学長に山口 薫就任
星槎国際高等学校学習センターを仙台市、立川市、広島市、沖縄市に開設
神奈川県知事より星槎中学校設置認可
- 平成17年 星槎中学校開校 初代校長に金子 肇就任
星槎国際高等学校二代校長に高津 茂就任
星槎国際高等学校学習センターを北海道当別町に開設
神奈川県知事より星槎高等学校設置認可
- 平成18年 星槎高等学校開校 初代校長に金子 肇就任
横浜国際福祉専門学校五代校長に豊田宗裕就任
横浜市「放課後キッズクラブ」指定認可(瀬谷区、港北区、緑区、青葉区)

- 平成19年 星槎国際高等学校学習センターを横浜市、厚木市、福岡県福岡市に開設
平成21年 六代理事長に井上一就任
星槎国際高等学校三代校長に佐藤尚正就任
星槎大学二代学長に佐藤方哉就任
横浜国際福祉専門学校六代校長に坂本翔子就任
神奈川県中郡大磯町に星槎湘南大磯キャンパス開設
- 平成22年 星槎大学三代学長に古藤泰弘就任
東京都八王子市に星槎高尾キャンパス開設
星槎国際高等学校学習センターを八王子市に、実習センターを帯広に開設
- 平成23年 愛知県知事より星槎名古屋中学校設置認可
静岡県伊豆稲取に星槎稲取研修センター開設
帯広地域若者サポートステーション事業を受託
- 平成24年 星槎名古屋中学校開校 初代校長に水野高保就任
文部科学大臣より星槎大学大学院教育学研究科(修士課程)設置認可
神奈川県足柄下郡箱根町に星槎箱根仙石原キャンパス開設
横浜国際福祉専門学校社会福祉士短期養成コース開設
- 平成25年 星槎大学大学院教育学研究科(修士課程)開学
北海道知事より星槎もみじ中学校設置認可
文部科学大臣より日本教育大学院大学設置者変更認可
- 平成26年 星槎大学四代学長に井上一就任
星槎もみじ中学校開校 初代校長に見方益夫就任
日本教育大学院大学 開学(運営開始) 学長に古藤泰弘就任
星槎名古屋中学校 二代校長に安部雅昭就任
静岡県知事よりピーターパン幼稚園幼保連携型認定こども園認可
- 平成27年 ピーターパン幼稚園が幼保連携型認定こども園として開園
日本教育大学院大学学長に井上一就任
学校法人 北海道櫻井産業学園との包括連携協定締結
星槎国際高等学校学習センターを神奈川県大磯町、名古屋市に開設
- 平成28年 文部科学大臣より星槎大学大学院教育実践研究科(専門職学位課程)設置認可
横浜市長より青葉台幼稚園幼保連携型認定こども園設置認可
- 平成29年 星槎国際高等学校四代校長に前田 豊就任
星槎もみじ中学校二代校長に澤口文裕就任
日本教育大学院大学を廃止
星槎大学大学院教育実践研究科(専門職学位課程)開学
青葉台幼稚園が幼保連携型認定こども園として開園
星槎国際高等学校学習センターを帯広市に開設
- 平成30年 横浜国際福祉専門学校を廃止
星槎国際高等学校学習センターを小田原市、香川県丸亀市に開設
- 令和元年 七代理事長に宮澤保夫就任。星槎大学五代学長に山脇直司就任
文部科学大臣より星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻科(博士後期課程)設置認可

- 星槎国際高等学校本部校を芦別市から札幌市に移転
星槎国際高等学校学習センターを川口市、静岡市、丸亀市に開設
星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻科(博士後期課程)開学
- 令和2年 星槎国際高等学校学習センターを甲府市に開設
ピーターパン幼稚園、青葉台幼稚園を設置者変更により分離
星槎富山キャンパス(児童館・学童保育併設)開設
- 令和3年 星槎国際高等学校学習センターを北広島市、那覇市に開設
星槎中学校、星槎高等学校、星槎名古屋中学校を設置者変更により分離
- 令和4年 星槎国際高等学校クラウドスクール開設
八代理事長に土屋了介就任
星槎国際高等学校学習センターを北九州市に開設
- 令和5年 星槎大学六代学長に西村哲雄就任
- 令和6年 九代理事長に前田豊就任
星槎国際高等学校学習センターを旭川市に開設
- 令和7年 福島県大熊町に星槎国際高等学校相双キャンパスを、熊本市に熊本キャンパス
を開設
星槎国際高等学校は文部科学省よりが学びの多様化学校として認可
【コース名】通信制課程リベラルアーツコース

〈設置する学校の内容〉 令和7年5月1日現在

学校名	学部・学科等名	入学定員	収容定員	令和7年5月1日現在	令和7年度志願者数	令和7年度合格者数	令和7年度入学者数
星槎大学	共生科学部 共生科学科	420	3980	3807			
	大学院 教育学研究科 (博士後期課程)	5	15	15			
	大学院 教育学研究科 (修士課程)	50	100	76			
	大学院 教育実践研究科	15	30	37	22	16	16
星槎国際高等学校	普通科 (通信制課程)		8000	7134			
星槎もみじ中学校			270	157	48	48	47
法人合計			-	11226			

〈役員・教職員の概要〉 令和7年5月1日現在 (役員・評議員は7月1日現在の状況)

学校名	教員数	職員数	合計	理事 (定数5名以上9名以下)	監事 (定数2名)	評議員 (定数11名以上19名以下)
法人本部	0	27	27	理事長 前田 豊 理事 西村 哲雄 宮澤 幸子 蓮田 亮大 尾崎 達也 西永 堅 佐藤 尚正 増子 久枝	久保 光雄 長町 好樹	澤口 文裕 牧野 秀昭 小林 学 垣内 麻由美 中鶴 まさみ 飯浜 浩幸 福島 修史 内島 裕 仲山 進也 佐藤 真理子
星槎大学	55	47	102			
星槎国際高等学校	422	258	680			
星槎もみじ中学校	17	5	22			
法人合計	494	337	831			

(教職員数に非常勤は含まない)